

## 支部社協紹介

今号では、西条市の山間部に位置する市之川支部を紹介します。

当地域は、1893年（明治26年）に「市之川鉱山(株)」が設立され、日本でも有数の鉱山地帯でした。日清戦争（1894年～）第一次世界大戦（1914年～）の時代背景で、弾丸に使用された鉱物「アンチモン」の需要は拡大し、精錬所を有する当地域は、明治・大正時代の最盛期には約2,000世帯を有する地域でした。また、世界で最高品質の「輝安鉱（きあんこう）」が採れる鉱山として知られ、国内外の博物館では競って輝安鉱や標本を購入し、博物館（ロンドンの大英博物館等）や大学には当地域の高品質で大型の輝安鉱が現在も収蔵・展示され、鉱山研究家にとって、「イチノカワ イヨ」は有名となりました。

（西条高校隣の郷土博物館にも輝安鉱が展示されています）

しかし、太平洋戦争（1941年～）以降は「アンチモン」の需要も激減し、1957年（昭和32年）には事実上、閉山となり、人々の生活を支えた地場産業の廃業に伴い世帯数も激減し、小さな坑道は草木に埋もれ、昔の面影もない程、現在はさびしい地域となりました。

### 市之川支部

支部長 伊藤 芳子



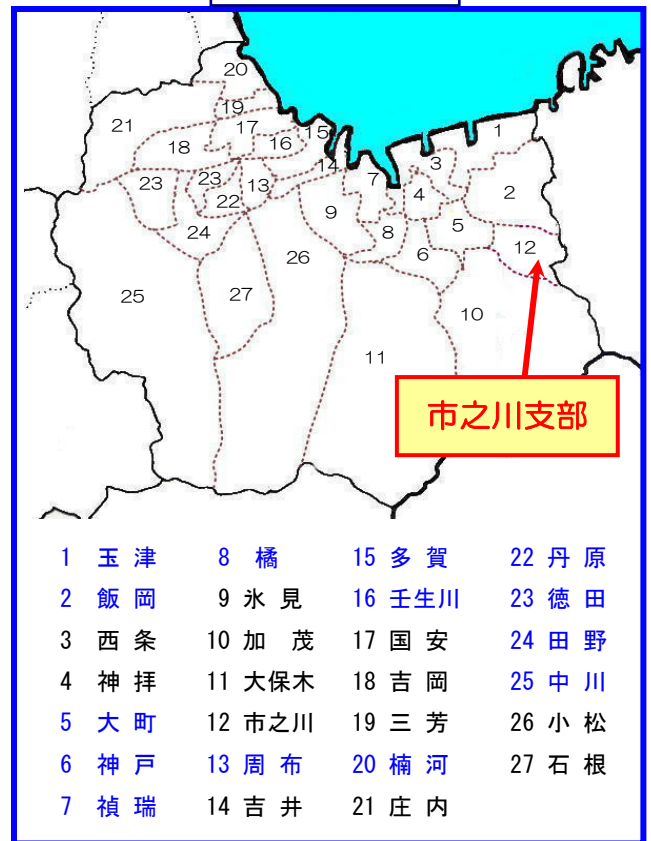
前任から役を引き継ぎ7年目となりましたが、地域の皆さんには「社協会費」「共同募金」「敬老の家事業」等に多大なるご理解・ご協力をいただき、大変有難い限りです。

山間部に位置する当地域では、昭和55年に小学校が休校となって以降、過疎化が更に進み、現在では就学児童や未成年者の若い世代が存在しない等、基礎的条件の厳しい限界集落となりました。

世帯も山間部に点在しているので、一堂に会する機会も少なく、自治会活動や世代交流事業等の地域活動実施もままならないのが現状です。

しかしながら、当地域ならではの小地域コミュニティづくりを皆で進め、皆さんに喜んでいただけるような地域活動を実施していきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

### 27支部位置図



### 市之川地区はこんなところ

#### ■基本情報（平成23年3月末現在）

人口 : 24人

世帯数 : 16世帯

自治会数 : 2

施設等 : 市之川公民館（小学校跡地）、  
集会所 等



#### ■地場産業

農業（畑作が中心）、林業 等

#### ■名所等

千荷坑、坑道跡、衡上断層 等

#### ■伝統・行事等

秋祭り、輝安鉱、棚田、モツゴ(川魚) のてんぷら 等





## 市之川の仲間たち

当地域は超高齢地域（高齢化率は約83%）であり、地域福祉活動も高齢者福祉事業に偏る現状があり、人的・予算的にも余裕がありません。地域福祉活動にかかる世話人役の体力的問題や在宅介護に関する課題等、大きな地域課題を抱えています。

このような中、毎年4月開催の「ふるりの集い」は、地元出身者等、当地に縁ある人が大勢集い、故郷を想い・懐かしみながら、公民館近くのお花見で交流を深めます。このお花見は春の地域恒例行事となっており、それに応えるかのように、毎年、桜も見事な花を咲かせます。

また、市之川を守り・PRしようと 地域再活性化を目的に、先人が色々苦労して、閉ざされた坑道の草刈や公園整備等「市之川アンチモンの里づくり」として推進していましたが、平成16年の台風で甚大な被害を受けて以降、当事業は頓挫してしまいました。坑口は塞がれ、周辺も荒れ放題となっていますが、公民館の資料室には、鉱山で賑わっていた当時の写真や道具類等を展示しており、県外や時には海外からも市之川の輝安鉱に魅せられ、現地を訪れる人がいます。

市之川の財産である鉱山の坑口・坑道が再び開かれ、「アンチモンの里」として地域に人が集うことが、地域再活性化へつながるかもしれません。

鉱山閉鎖や台風災害で世帯が減った寂しい地域ですが、地元出身者が地域行事や田畑の整備等で時々帰郷し、元気な笑顔と話題を届けてくれるのが、地域の救いとなっています。

### ～ふるりの集い～



## 自慢の支部事業

今回は、支部社協主催事業である「敬老の家」事業を紹介します。

市内でも世帯数が最少（地域住民は全員40歳以上）であり、数年前には行政区域も大町地区に統合された当地域ですが、「小地域なりに交流を深めて、元気に地域で暮らそう」と本事業を実施しています。

- 1 事業名 「敬老の家」事業
- 2 目的 気軽に地域の人々と交流を深めること
- 3 対象者 概ね70以上の独居高齢者等
- 4 実施内容 食事会、談話、ゲーム等
- 5 実施場所 市之川集会所

当事業は、市之川集会所を拠点に、地域住民約10名（お世話人さん約4名）が集い交流を深めています。集会所近くの方は歩いて参加できますが、遠方にお住まいの人（丸野地区）は世話人が自動車で送迎しています。

公民館事業で定期的に「女性学級」（「料理」や「かすらづくり」等の地域住民交流事業）を実施しているため住民のつながりも強く、「敬老の家」事業では、食事会を中心に絵手紙や折り紙等を楽しみながら、明るく朗らかな時間を過ごします。普段着で気楽に参加できる当事業は好評で、皆さん楽しみにしています。

### ～敬老の家事業～



### ～女性学級（かすらづくり）～



## 社協からのお知らせ

### ～在宅介護者の会について～

在宅介護には、介護者家族間の情報交換や介護者自身の心身の健康保持が必要となります。

在宅介護者の会は支部社協を中心に関係者、ボランティア等の協働で実施されていますが、未実施の支部も本事業に取り組んでみてはいかがでしょうか。

なお、事業にかかる助成金額は次のとおりです。詳細につきましては本所又は各支所へお問合せください。



助成金一覧表	
介護者会員数	助成金額
5人以下	10,000円
6～10人	20,000円
11～20人	25,000円
21～30人	30,000円
31～40人	35,000円
41～50人	40,000円
51人以上	45,000円

### ～ふれあいベンチ設置事業について～

申請いただきました「ふれあいベンチ」につきまして、7月末に設置できるよう現在調整中です。

ベンチ設置予定日が決まり次第、当該支部へお知らせしますので、よろしくお祈りします。

### ふれあいベンチ設置希望一覧表（台数）

玉津 (0)	橘 (1)	多賀 (0)	丹原 (1)
飯岡 (1)	氷見 (1)	壬生川 (1)	徳田 (1)
西条 (1)	加茂 (1)	国安 (1)	田野 (1)
神拝 (2)	大保木 (1)	吉岡 (1)	中川 (1)
大町 (2)	市之川 (0)	三芳 (1)	小松 (1)
神戸 (1)	周布 (1)	楠河 (1)	石根 (1)
禎瑞 (1)	吉井 (1)	庄内 (1)	